

氏名	星 文彦	部署	理学療法学科	職名	教授
研究分野	中枢神経疾患の理学療法学、運動学、姿勢制御				
学位	博士(障害科学)、修士(教育学)				
学歴	1977年東京都立府中リハビリテーション学院理学療法学科、1988年明星大学人文学部心理教育学科、1994年北海道教育大学大学院修士課程教育学研究科、2003年東北大学大学院医学研究科障害科学専攻				
経歴	1977年東京都立府中病院・主事、1980年東北大学医学部附属病院鳴子分院・文部技官、1983年北海道大学医療技術短期大学部理学療法学科・助手、1997年北海道大学医療技術短期大学部理学療法学科・助教授、1999年東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科・教授、2003年東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科健康福祉専攻・教授、2007年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科教授				
所属学会(役職)	日本理学療法士学会、日本リハビリテーション医学会、全国大学理学療法教育学会、ISEK(the International Society of Electrophysiology and Kinesiology)、日本電気生理運動学学会(JSEK)、専門リハビリテーション研究会				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月	
(1) 著作					
1					
2					
3					
(2) 論文					
1	脳卒中片麻痺患者の歩行動作時のボディメカニクスと理学療法	共著	理学療法、32、1、46-54	国分貴徳、田口孝行、星 文彦	2015
2	運動神経伝導速度の計測による地域在住高齢者の運動神経機能の推定	共著	理学療法学、42、1	西原 賢、河合 恒、千葉有、五味 敏昭、国分 貴徳、星 文彦	2015
3	歩行中の方向転換動作における予期的姿勢制御に関わるステップ戦略の検討	共著	理学療法-臨床・研究・教育-、23、72-76	中村高仁、菊本東陽、星 文彦	2016
(3) 学会発表					
1	Proactive postural control of the turning while walking in healthy adults.	共著	WCPT, Singapore	○T.Nakamura, F.Hoshi	2015、
2	体幹・下肢筋力の均衡とバランス・歩行能力の関連について	共著	第51回日本理学療法学会大会、東京	○菊本東陽、星文彦	2015、6
3	jerk 最小モデルを用いた脳卒中片麻痺歩行の解析と機能障害との関係	共著	第51回日本理学療法学会大会、東京	武田尊徳、中村高仁、田代英之、山崎弘嗣、西原賢、星文彦	2015、6
4	歩行中の方向転換動作における予期的姿勢制御に関わるステップ戦略の検討	共著	第51回日本理学療法学会大会、東京	中村高仁、村田佳太、関根陽平、武田尊徳、田代英之、塙大樹、菊本東陽、西原賢、星文彦	2015、6
5	若年者と高齢者の起立動作における筋シナジーは伸展相移行時の床反力方向の違いによって分類される	共著	第51回日本理学療法学会大会、東京	塙大樹、丸毛達也、村田佳太、国分貴徳、藤本鎮也、中村高仁、武田尊徳、西原賢、星文彦	2015、6
6	脳卒中後遺症者における位置覚検査の経時的変化について	共著	第51回日本理学療法学会大会、東京	村田佳太、塙大樹、西原賢、星文彦	2015、6
(4) その他					
1	該当なし				
2					
3					

2. 競争的資金等の研究			
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)科研費受託(平成26年度～28年度)	歩行中の方向転換におけるプロアクティブ姿勢制御戦略障害に関する基礎的研究	2014.4-2016.3
2	受託研究(株式会社 アグア)	インソール「STORONG FEET」の装着効果の検証	2015.5-2016.3
3			
3. 教育業績			
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
(1) 講義			
1	発達障害理学療法学	2015.10-2016.3	小児疾患に対する理学療法における発達のアプローチの理論を教授した。
2	神経障害理学療法学	2016.10-2016.3	中枢神経疾患に対する理学療法の一般的理論の変遷と脳卒中回復期及び失調症に対するアプローチの理論を教授した。
3	運動学入門	2015.4-2015.9	形態計測、関節可動域計測、姿勢の描写、動作観察、ハンドリングについて演習と交え教授した。
4	運津制御と運動学習	2015.10-2016.3	運動制御理論、特に姿勢制御について研究文献抄読を通して議論した。
5	理学療法学概論	2015.4-2015.9	理学療法について、障害の捉え方、定義、実践の紹介しながら、理解を深める様に教授した。手法として、映画鑑賞、KJ法によるグループワーク、レポート課題なども用いた。
6	卒業研究	2015.4-2016.3	4名の学生を指導した。研究はバランス機能、疲労、運動学習に関連するテーマであった。
(2) 演習			
1	神経障害理学療法実践チュートリアル	2015.4-2015.9	脳卒中に関するペーパーptで評価と治療についてグループワークを行った。
2	発達障害理学療法実践チュートリアル	2015.10-2016.3	小児疾患(脳性麻痺、筋ジストロフィー)に関するペーパーptで評価と治療についてグループワークを行った。
3	理学療法セミナー(OSCE1)	2015.10-2016.3	模擬患者に対する面接と評価について評価指導した。
4	理学療法セミナー(OSCE2)	2015.4-2015.9	模擬患者に対する評価と治療について評価指導した。
5	理学療法特別演習	2015.10-2016.3	神経疾患及び小児発達領域の国家試験対応に関する指導を行った。
(3) 実習			
1	発達障害理学療法学実習	2015.4-2015.9	脳性麻痺に対する運動療法の実際を動画教材の視聴及び学生間で実習を行った。
2	神経障害理学療法学実習	2015.10-2016.3	脳卒中及び失調症に対する運動療法の実際を動画教材の視聴及び学生間で実習を行った。
3	神経診断学実習	2015.10-2016.3	神経症候学に基づき、理学療法に関連する検査について運動麻痺や姿勢障害、不随運動等についてグループワークと実習を通して理解を深めた。
4	臨床実習(I)	2015.10-2016.3	検査測定実習について指導した。
5	臨床実習(II)	2015.10-2016.3	理学療法評価について、施設訪問を通して指導した。
6	臨床実習(III)	2015.4-2015.9	理学療法の総合的実践を病院へ訪問を通して指導した。
7	臨床実習(IV)	2015.4-2015.9	老人保健施設及び整形外科クリニックにおける理学療法について施設及び病院へ訪問を通して指導した。
(4) 論文指導			
1	卒業論文	2015.4-2016.3	4名
2	修士論文	2015.4-2016.3	主指導2名、副指導1名
3			

(5)その他			
1	卒業生のために症例検討会(勉強会)	2015.4-2016.3	症例報告とアプローチの検討
2			
3			
4. 社会貢献活動			
(1)講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
	開催年月		
1	臨床実習指導者講習会	埼玉県立大学理学療法学科	バランスとハンドリング
2	「人間を考える」;放送大学埼玉学習センター一般公開講演会	放送大学埼玉学習センター	転ばぬ先の基礎知識 ~立位のバランスの生涯発達~
3			
(2)国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	越谷市	越谷市生涯学習審議会委員副委員長	2015-2016
2	日本理学療法士学会	第51回日本理学療法学会大会長	2014-2016
3	専門リハビリテーション研究会	監事	2015-
4	日本電気生理運動学学会(JSEK)	幹事	2014-
(3)ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			
3			
5. 学内運営(委員会委員)			
1	地域産学連携センター所長		
2	地域産学連携委員会委員長(地域専門職連携推進部会、専門職連携・協働推進事業部会)		
3	認定看護専門部会部会長、認定看護師教育課程教員委員会会長		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		